

# 進路だより

福島県立いわき支援学校 進路指導部

第 5 号

平成30年12月20日 発行

## 実習体験記 (校外実習の巡回・付添指導をして感じたこと)

11月5日～16日まで高等部後期産業現場等における実習が行われました(3年生は校外実習10日間、2年生は校外実習5日間・校内実習5日間、1年生は校内実習10日間)。巡回・付添指導を行った教員が感じたことを紹介します。

私は主に、B型事業所の巡回・付添指導を行いました。そこで大切だなと感じたことが2つあります。1つ目は、集中力です。集中力を欠いた状態で作業をすると、ミスや事故につながります。作業中と休憩時間のメリハリをつけて過ごすことが大切だと感じました。2つ目は、あいさつです。あいさつは、集団生活を送る上で必要不可欠であり、職員の方や利用している人たちと、仲良く気持ちよく過ごすためには、自分からあいさつをすることが大切だと感じました。(高等部 3学年)



私は主に、生活介護事業所での実習の付添指導を行いました。生活介護事業所ではウエス裂きやバリ取りなどの軽作業を行う活動の他に、刺し子やペグ刺し等の個別課題に取り組んだり、運動を行ったりしました。その中で、軽作業に取り組む姿勢はもちろんのこと、その他にも個別課題に取り組むにあたって、「自分の好きなこと」や「取り組める課題」が何であるかなどの自己理解を深めていくということも大切であると感じました。

(高等部 3学年)

## 進路学習 (高等部2・3年生の「職業」の授業)

高等部には「職業」という授業があります。ここでは、働く上で身につけなければならないことを学びます。今回は高等部2・3学年で行われている「職業」の授業を紹介します。

### 高等部2学年「職業」～働くとはどのようなことか～

2学年の職業では、働く上で身につけておくべきことを授業で取り上げています。教師の話聞いてプリントに大事なことをまとめるだけではなく、封入作業や部品組立などの単純作業を一定時間行ったりします。それ以外にも、あいさつや身だしなみ、電話のかけ方などのビジネスマナーを、ロールプレイングを通して学習しています。また、自分の進路を身近に感じることをねらいとして、卒業生の話を聞く機会を設けました。



卒業生から、働く厳しさや意義、学校生活との違いなどの話を直接聞いて、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして、働くことについての学習をしました。



### 高等部3学年「職業」～卒業後の「進路」を見据えて～

3学年の職業では、産業現場等における実習に関連する取り組みやビジネスマナーなど、より卒業後の生活を意識した学習を行っています。実習に関する取り組みでは、実習先に自分のセールスポイントや苦手なことを理解していただけるよう、「ナビゲーションブック(自己紹介書)」を作成しました。これは、今までの実習を振り返り、自分の課題の克服を目指すとともに、生徒が自己理解を深めること、自分の思いや考えを分かりやすく相手に伝えることも学習のねらいとしています。ビジネスマナーでは、あいさつや言葉遣い、態度、身だしなみなど、社会人としての基本的なマナーをはじめ、面接での質疑応答の仕方や履歴書の書き方、生活していく上で起こりうるトラブルへの対処法なども学習しています。